

# 保育所向け支援システムの 実証実験に関する情報提供依頼書 (RFI)

西宮市デジタル推進課

## 1. RFI概要

### 1.1 件名

保育所向け支援システムの実証実験に関する情報提供依頼

### 1.2 背景と目的

本市では、保育現場を取り巻く環境が大きく変化しており、支援を必要とする子供の受入れが増加するとともに、家庭環境の問題などから、子供だけでなく保護者も一体となった支援が必要な家庭が増加している。このような多様なニーズに対応するため、業務量は増加し、様々な対応が求められる一方で、人的資源は限られており、一層の効率的・効果的な活用が求められている。

こうした状況を踏まえ、公立保育所では、システムによるデジタル化や自動化を図ることで、職員の業務省力化につなげ、様々な場面において保育の質の向上につながる効果が得られるものと考えていることから、保育施設向け支援システムの導入を検討している。令和4年度には市内公立保育所2施設において先行してシステムを導入し、本導入に向けた実証実験を行う予定である。

については、本事業を実施するにあたり、支援システムの概要及び効果検証の実施に関し、広く事業者からの情報提供を依頼し、今後の実証製品選定の参考とするものである。

## 2. 実証システム

### 2.1 システム導入の目的

- (1) 保育所の事務作業の効率化による保育品質の向上
- (2) 保育所と保護者の迅速かつ正確な情報伝達をはじめとした保育サービスの向上

### 2.2 導入対象施設（本格導入時）

- ・公立保育所 計23 園
- ・職員約900名、園児約2,350名

## 2.3 システム要件

### (1) 機能要件

「3.1 重点業務」の課題解決に資する機能を有するシステムを提案してください。

### (2) ハードウェア要件

提案するシステムについては、サーバ機器等を自庁に設置するオンプレミス型では無く、クラウドを使用したサービス利用型のシステムとしてください。

### (3) クライアント要件

保育所及び管理担当課（保育所事業課）が利用するクライアント端末はWindows10／11搭載PC及びiPadを予定しています。また、保護者についてはこれらに加えてiOS／Androidのタブレット及びスマートフォンでの利用を想定しています。各利用者からのアクセスについては、Edge／Safari／Chrome／等のOS標準ブラウザ、又はiOS／Android用アプリを利用することとします。

※iPadについては、本格導入では第9世代以降の最新モデルを新たに調達して利用する方針だが、実証実験においては既存のiPad Pro（9.7インチ）を利用する想定としている。

### (4) ネットワーク要件

保育所、保護者、管理担当課（保育所事業課）といった利用者が想定されますが、全ての利用者はインターネットを経由してシステムを利用することとします。

## 3. 実証対象業務

保育所での業務は多岐に渡ることから、導入するシステムはできるだけ広範囲の業務を改善できるものであることが望ましいと考えています。一方で、事前の課題整理の中で、現状の事務作業で特に保育士の負担となっている業務を重点業務として選定したことから、今回の実証では以下の5つの重点業務の課題解決に資するシステムであることを重視する方針としています。

### 3.1 重点業務

#### (1) 保護者連絡業務（連絡表・お便り作成等）

保護者からの出欠席や遅刻・早退の連絡や、保育所からの情報連絡を行う業務。

#### (2) 登降園管理業務

園児の出欠や登降園時刻を確認し、各担当者に申し送り事項を伝達するとともに、延長保育料の算定を行う業務。

- (3) 指導計画・日誌作成業務  
園児の指導計画や業務日誌を作成し、管理する業務。
- (4) 午睡チェック業務  
0歳児から2歳児クラスの園児の午睡中の様子を観察し、5分間隔で記録する業務。
- (5) 保育記録（ドキュメンテーション）業務  
園児の活動の様子について実際の写真を用いて記録し、園内掲示等を行うことで、保護者に保育の様子を伝達するとともに、記録を通じた保育の振り返りを行う業務。

### 3.2 重点業務の課題

重点業務に関しては、業務フローと各プロセスにおける具体的な課題や評価指標を整理した参考資料を参加申込事業者に別途提供しますが、大きく以下の3点を重点業務全般に共通する課題として認識しています。

- (1) 紙管理  
紙書類のやり取りが多く、仕分け作業や転記作業、受け渡し等に時間を要しているほか、各園での保育記録の保管場所も枯渇している。
- (2) 情報連携・情報共有  
各種情報がアナログな方法でバラバラに管理されており、一元管理や電子的な紐付けができていないことから、情報連携や情報共有の効率が悪くなっている。また、各種連絡や情報発信についてもアナログ中心のため、保護者にとっても保育所との連絡が負担となっている。
- (3) 文書作成  
文書作成において、多数の紙資料を参照しながら毎回手作業で作成するケースが多いことから、作成に時間を要するほか、担当者による品質や効率の差が大きい。

### 3.3 その他の業務

重点業務以外に本市で実施している業務（以下、「その他の業務」）は以下の通りです。その他の業務については、重点業務よりも優先度が下がるものの、可能な範囲で重点業務と併せて実証したいと考えています。そのため、情報提供いただく製品にその他の業務の改善に資する機能がある場合は、追加提案として情報提供依頼書に含めてください。

- (1) 保育所児童保育要録作成業務
- (2) 写真販売業務

- (3) 職員シフト表作成業務
- (4) 調理員休暇取得時の代替職員確保業務
- (5) 児童情報管理（検診カルテ含む）業務
- (6) マニュアル等帳票管理業務
- (7) 施設安全点検業務
- (8) 自主監査業務
- (9) ヒヤリハット管理業務

## 4. 実証実験

### 4.1 実証実験の目的

- (1) 利用機能とその導入効果の検証
- (2) システム利用環境の検証

### 4.2 対象施設（R3.4時点）

- ・西宮市立瓦木北保育所（定員数：90名、入所児童数：94名、職員数：37名）
- ・西宮市立北夙川保育所（定員数：120名、入所児童数：127名、職員数：48名）

### 4.3 実証実験の要件

#### (1) システム導入

「2.3 システム要件」に記載されている機能要件を満たすシステムを導入してください。

#### (2) 機器調達

実証に必要な機器類は本市で別途準備します。

#### (3) 効果測定

「3.1 実証実験の目的」に鑑み、以下の効果測定を実施してください。

ア 定量的な計測及びヒアリングを通じて、本市が定めた重点業務における評価指標（参加申込事業者に別途資料提供）を中心に、保育所業務の効率化を検証する。

イ 定性的なヒアリングを通じて、保育所の業務や職員の考えを収集・分析する。

ウ 満足度に関する定性的なヒアリングを通じて、保護者の保育サービスに対する考えを収集・分析する。

#### 4. スケジュール（予定）

- ・ 令和4年 2月 実証実験に関する情報提供依頼の実施
- ・ 令和4年 4月 実証実験業務の発注
- ・ 令和4年 6月 実証実験開始
- ・ 令和4年 9月 中間評価
- ・ 令和5年 3月 最終評価

---以降のスケジュールは最終評価により有効性が認められた場合に限り実施予定---

- ・ 令和5年 4月 本格導入（23園）の公募開始
- ・ 令和5年 7月 本格導入（23園）事業者の選定
- ・ 令和5年 9月 実証実験完了
- ・ 令和5年10月 23施設への本格導入

#### 5. 情報提供の依頼内容

本情報提供依頼において、最低限提供いただきたい情報を以下に示します。

##### 5.1 提案システム

###### (1) システム概要・機能

- ・ システム概要
- ・ 重点業務に関連する機能
- ・ その他の業務に関連する機能
- ・ 追加提案（対象業務に直接関係しないものの、本市にとって有益と思われる機能やサービス等の提案）

###### (2) セキュリティ

- ・ 不正アクセス対策
- ・ 個人情報保護
- ・ クラウド利用に関する利用者の本人同意の取得方法
- ・ データバックアップ
- ・ 障害対策

###### (3) 問い合わせ体制

管理担当課、保育所、保護者それぞれの問い合わせ先（ヘルプデスク）について

###### (4) 導入実績

- ・ 導入自治体数
- ・ 中核市、政令指定都市の導入自治体数
- ・ 導入公立施設数
- ・ 導入民間施設数
- ・ 西宮市内の導入民間施設数

※「導入実績」は、保育施設における保育業務を総合的に支援するシステムの実績とし、機能単体システム（例えば午睡チェックシステム等）の実績は除くこと。

## 5.2 実証実験

### (1) 実施計画

実証実験の実施にあたっての基本的な考え方・コンセプトを提示してください。

### (2) 実証実験で利用するシステム機能

提案システムの機能のうち、実証時に利用する機能とそれにより検証できる内容を提案してください。

### (3) スケジュール

実証実験全体のスケジュールを策定してください。

### (4) 環境構築

実証に必要なネットワーク環境及び機材は本市で別途準備します。

### (5) 実証支援

研修や問い合わせ対応等、実証実験の支援内容を提案してください。

### (6) 効果測定

実験で検証する内容およびその測定方法、成果物について提案してください。

### (7) 実績

過去同様の実証事業を他の地方自治体から受託した実績について明記してください。

## 5.3 費用

### (1) 実証実験に関する費用

令和4年6月1日から令和5年9月30日までの実証実験に必要な一切の費用

(PC、タブレット等の利用端末及びネットワークの導入・運用経費は含みません)

### (2) 本格導入に関する費用

令和5年10月に稼働予定の23園へのシステム導入経費及び令和5年10月1日から令和10年9月30日までの60ヵ月の運用経費

(PC、タブレット等の利用端末及びネットワークの導入・運用経費は含みません)

## 6. 情報提供要領

### 6.1 参加申込

参加申込をいただいた事業者には現行業務フローや課題一覧、評価指標等の詳細資料を提供します。なお、参加申込は「6.2 提出期限」に記載する期限まで随時受け付けます。参加申込については以下の要領をお願いします。

- (1) 「6.3 提出先について」に記載のアドレス宛に電子メールをお送りください。
- (2) 電子メールの件名は「保育所向け支援システム情報提供依頼参加申込（貴社名）」としてください。

### 6.2 提出期限

令和4年3月22日（火）17時30分 必着

### 6.3 提出書類

#### (1) 提案書

提案書はPDF形式の電子ファイルとし、ページ数は無制限とします。また、様式は任意とします。

#### (2) 見積書

別紙1の様式に記入の上、電子ファイルで提出してください。

### 6.4 提出先

〒662-8567 兵庫県西宮市六湛寺町8番28号

西宮市 総務局 デジタル推進部 デジタル推進課（担当：迫田・松浦・細川）

電話：0798-35-3536 メール：jyosys@nishi.or.jp

### 6.5 提出方法について

電子メールにて電子媒体1部の提出をお願いします。

### 6.6 質疑応答について

受付・回答は電子メールで行います。書式は問いません。

また、質問期限は設けません。

## 7. その他特記事項

- ・ 本情報提供の実施に要する費用は、各提供者の負担とします。
- ・ 本情報提供依頼は、現在各事業者において保有している技術情報や価格等の情報を得るための手段であり、貴社からどのようなご提案をいただいても、それをもって将来の発注を約束するものではありません。
- ・ ご提供いただいた情報・資料については、返却いたしません。
- ・ ご提供いただいた情報・資料については、システム導入業務以外では使用せず、第三者には開示いたしません。
- ・ ご提供いただいた情報・資料に関して、後日問い合わせやヒアリングを行う場合があります。